

男女が共に活躍できる 社会をめざして

女性登用とワーク・ライフ・バランスを進めて

活力あるまちづくり

今年の新春特集では、男女共同参画に関する座談会を開きました。

(本文中敬称略)



末松市長

全員 明けましておめでとうございます。

市長 さて、私が昨年選挙で当選させていただいた後、東海3県だけでなく、中部9県においても初めての女性市長だと知らされたときは、本当にびっくりしました。それほど女性の市長は少ないんですね。今までは議員でしたので、どちらかという自分が参画する立場でしたが、これからは私が中心になって市の審議会委員や管理職などいろいろな分野に女性を引き上げる立



男女共同参画審議会
会長 土川禮子さん

市長 末松則子

男女共同参画審議会
委員 杉本幸樹さん

市議会副議長 森しず子さん

場になりました。今後、女性が市長になったことでさまざまな面における変化を、少しずつ見ていただけるようになってくるかなと思います。

皆さん、今日は、鈴鹿市の男女共同参画についてお話をしましょう。

女性の市政参画

森 今、議員13年目で、5月からは副議長を務めています。実は、長い鈴鹿市議会の歴史の中で、女性の副議長は私で2人目です。末松市長とは女性同士ということで何でも話し合え、ありがたいと思っています。

土川 私は鈴鹿市男女共同参画審議会の会長を務めていますが、その審議会で毎回一番大きな議題になるのは、鈴鹿市のさまざまな審議会や委員会において、女性委員をどうしたら増やすことができるのかということです。現状では各種団体のトップが、審議会の委員になることが多くなっています。トップはだいたい男性ですので、結果的に審議会や委員会の委員は、女性が少なくなってしまうのです。

杉本 審議会などに女性委員を登用するには、市長がリーダーシップを発揮して、職員に指示しないと登用率はなかなか上がらないと思います。特に問題なく順調にいらっていると感じている間は、そんなに変化を求めないものですからね。

市長 先日、新しく設置する審議会の名簿を見たら、やはり男性が多かったです。担当職員に、関係するそれぞれの団体から女性を選出してもらおうよと言ったら、それらの団体は女性役員が少なかったり、まだ新人の方であったりと、結局、参加していただくのは難しいと返事が返ってきました。そこで、将来その女性に審議会委員になってもらうために、準備として、今回は傍聴してもらおうようお願いをしました。さらに、今後は女性を委員として選出するように私が直接依頼した団体もあります。

他の審議会についても、各担当者に「なぜ女性がいらないのか、なぜ公募を入れていないのか」と質問しても、良い返事は返ってきませんでした。

杉本 いやな役回りですが、そうやって職員がどうしてもせざるを得ない状況にさせていただくのも市長の役目だと思います。

森 部長をはじめとする職員の皆さんに、男女共同参画を常に心掛けていただくことによって、大きく変わっていくと思います。市長のリーダーシップの下に、いろんな審議会を一度見直すということが必要ですね。

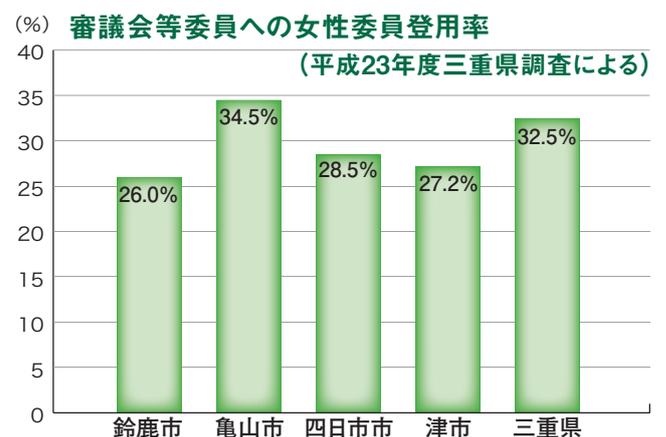
市長 この間、庁内会議のときに女性が一人もいない審議会を所管する部長に聞き取りを行いました。また、その際、今年度の目標値35%に近づけるように指示をしました。

森 私も以前、まだ平均10数%のときに、当時の目標値30%を絶対上回るように、お願いを兼ねて一般質問させていただいたことがありました。

土川 市長が部長に聞き取りをしてくださったのはすごいですね。やはり市長がトップダウンで言われるというのは、ものすごく効果が大きいです。市長から言われれば、なんとかして女性を登用しようと、職員は考えてくれると思います。

森 現在、平均26%ですが、この機会にしっかりリーダーシップを取っていただいて、女性登用を進めていただきたいと思います。

市長 ここから更に引き上げるのは大変ですが、着実に上げていきたいと思っています。





家庭や職場における男女共同参画

杉本 私は不器用であり料理はしたことがないのですが、料理の楽しさというものに気付けるといいのかもしれませんが。何かきっかけがあれば、楽しさを知って料理をする人も多くなるのではないかと思います。

森 会社で働いているときは料理をしなかった男性が、退職後は男性の料理教室に行つてすごく頑張っているのをよく見かけます。男性の意識が少しずつ変わってきたように思いますね。

市長 ところで杉本さんは、20歳くらい若返ったら、育児休業を取りますか。

杉本 できれば取りたいですよ。長時間だらだら仕事をしている人よりも、イクメンの人の方が効率的に仕事をする能力があるそうです。

今、企業では効率が求められており、これまでのシステムが変わってきていると思います。短い時間で成果を出して、その後の時間は自分を高めることに充て、視野を広げ、そうするとそれがまた仕事にフィードバックできます。そうやって人を育てようとしている企業もありますね。

土川 そういうワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が、日本人は下手なんですね。男の人は仕事優先で、女の人は仕事をしていても家族や家庭のことを優先してきた社会でしたからね。だけど、女性もきちんと男性と同じように高等教育を受けているのに、その人材が活躍できないというのはもったいないことです。統計を見ると、共働きの家庭でも、女性が家事をする時間は4時間、男性が家事をする時間は30分なんです。だから女性は管理職になると大変。また、そのころには介護が入ってきたりして辞めてしまう女性が多いんです。

市長 私の息子は、今一生懸命やっています。自分や私のために夜食作ってくれたりとか。多分、必要に迫られているんでしょうね。



杉本幸樹さん

森 そうですね。私の夫も毎日洗濯をするなど、家族みんなで家事を分担しています。私が家にいたときは、私が何もかも全部やっていたのですが、とても生活が変わりましたものね。

杉本 僕らが、あと10年、20年経ったときに、ある程度自立していないと本当に怖いなあと思っています。

森 全部奥さんに任せて、靴下から通帳まで何がどこにあるのか分からないと、いざというときに怖いですよ。

杉本 至れり尽くせりで、全部自分でできないように育てあげられて、定年になって離婚されたら、男は大変ですよ、自分で何もできないんだから。

土川 どうしても、今までの男性と女性の役割分担がある社会が居心地いいということもあるし、また、もう波風立てたくないということがありますね。社会の仕組みを変えるわけですから、そんなに簡単には変わらないですね。

杉本 男女共同参画をしていることがいいことだということを実感しないと皆は行動できないのです。市役所が男女共同参画について先進的な取り組みを行って多方面から評価されると、市の職員全員がもっと頑張って男女共同参画をやろう、いい知恵を出そうというサイクルに変わってきます。すると、今度はそれが市民に伝わり、市民も男女共同参画を進めるようになります。

その結果、市全体がこんな素晴らしいまちになりましたっていうことになれば、絶対に企業は来ますから。費用対効果を考えたら、絶対にメリットはあると思いますね。女性市長、女性副議長というのは、本当にいいチャンスが来たなと思っています。

土川 女性が市長になったのを機に、男女共同参画都市宣言をされたらどうですか。

森 今年は市制70周年で、また、男女共同参画センター「ジェフリーすずか」の10周年です



森しげ子さん

から、大々的に都市宣言をしたいですね。

土川 男女共同参画都市宣言をして、子育て環境が整っているなど、女性も働きやすい市ですよとアピールして、杉本さんが言われたように企業誘致したらどうですか。

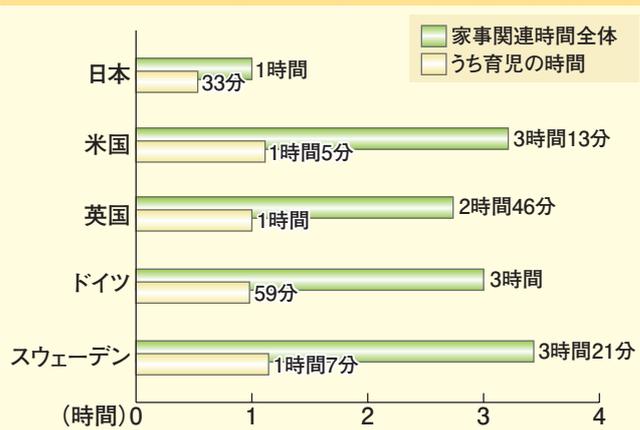
杉本 鈴鹿市らしい宣言がほしいですね。

森 鈴鹿の特長を生かした個性ある宣言にしたいですね。

土川 この部分に独自性を出そうってね。

杉本 面白いまちづくりになりますよね。楽しいじゃないですか。

6歳未満児のいる夫の1日当たりの家事、育児関連時間 (平成23年版男女共同参画白書より)



地域・防災における男女共同参画

土川 私は市外の団地に住んでいます。自治会長は男性ですが、他の会計や役員には、結構女性が就いてます。役員会とか開きますと、女性がたくさん出ています。やっぱり、その地域性もあるかも知れませんが。

市長 今、地域づくり協議会を鈴鹿の中で立ち上げていて、そこにはPTAが入ったりとか、子ども会が入ったりとかしているので、女性の顔が見えるようになってきていますね。また、最近PTA会長さんは女性が増えました。

森 それは私も感じています。小学校と中学校のPTA会長に女性が増えましたね。

土川 そういう時代になってきているのね。

市長 PTAの関係で女性が青色回転灯を装着したパトロール車に乗られたりしていますね。

杉本 そうやって女性の参加が増えると、地域も変わってくるんじゃないでしょうか。

土川 ところで、今回の東日本大震災を見ていると、避難所の災害用備蓄物資に全然女性の視点が入ってないですね。だから、とても困るわけです。避難所の運営を考える組織の中にやっぱり女性がいないといけないと思います。

杉本 避難所や災害救援をどうするかを、各地域で考えておかないといけないですね。防災は自分の命は自分で守れというのが基本ですから、地域の皆で考える必要があります。皆で考えることによって、女性の意見がたくさん入ってきます。こんなのが不足しているという問題がその地区、地区で出てくるんです。

森 また、防災会議の中に女性に入っていて、本当に細かい部分、精神的な配慮とかをしっかりと議論してほしいと思いますね。

市長 私は女性消防団がもう少し増えてほしい



土川禮子さん

と思っています。少し増えてきていますが、自衛隊も多くの女性の方が活躍する時代になってきていますから。

さいごに

市長 本当に今日は貴重なご意見やご提言をいただいたと思いますし、ざっくばらんに意見交換ができたのは本当に良かったなと思っています。

これから鈴鹿市が男女共同参画を進め、ワーク・ライフ・バランスや、企業の誘致、経済、雇用という部分につながっていければいいなと思います。また、男女共同参画センター「ジェフリーすずか」が10周年、それから、市制70周年になりますので、新たなスタートをするいいチャンスが鈴鹿市に訪れてきたというふうに考えます。しっかりといろんなところで、男女共同参画を常に言い続け、また、言うだけじゃなく実践もしていきたいと思っています。

今後とも皆さま方のご協力、ご尽力をよろしくお願ひ申し上げます。今日は本当にいい座談会になりましたことをうれしく思います。ありがとうございました。

男女共同参画に関する これまでの鈴鹿市の動き

- 平成4年 市民対話課に婦人行政係設置
- 平成7年 鈴鹿市女性問題懇話会設置
- 平成9年 「鈴鹿市男女共同参画プラン」策定
人権啓発課女性行政係に組織変更
- 平成13年 人権啓発課男女共同参画室に組織変更
- 平成14年 鈴鹿市男女共同参画センター
(愛称:ジェフリーすずか)開館
市長公室男女共同参画センターに
組織変更
- 平成15年 鈴鹿市男女共同参画審議会設置
- 平成16年 生活安全部男女共同参画課に組織変更
- 平成17年 「鈴鹿市男女共同参画プラン」改定
- 平成18年 「鈴鹿市男女共同参画推進条例」制定
- 平成22年 「鈴鹿市男女共同参画基本計画」策定

鈴鹿市男女共同参画センター ジェフリーすずか

少子高齢化など社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女共同参画社会の実現はとても重要な課題です。男女共同参画センターは、その男女共同参画社会実現のための拠点です。ホールや研修室、調理室、印刷機などがあり、低料金で使用できます。皆で男女共同参画を進めましょう。

開館時間 火曜日～土曜日 9時～21時30分
日曜日 9時～17時00分

休館日 月曜日・第3火曜日・祝日
年末年始(12月28日～1月3日)

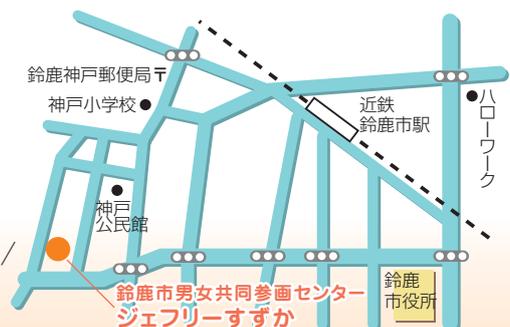
所在地 〒513-0801 鈴鹿市神戸二丁目15番18号

電話番号 381-3113

ファクス番号 381-3119

電子メール danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp

ホームページ <http://www.gender-free.city.suzuka.lg.jp/>



広報すずか特集「新春座談会」についてのご意見、ご感想は企画財務部秘書広報課へ。
☎382-9036 📠382-9040 📧hishokoho@city.suzuka.lg.jp